

千本桜の勉強を

夏井第一小学校で桜の学習

夏井第一小学校（鈴木文雄校長・三月現在）では、三年生以上の総合的学習の時間の中に、千本桜と関わる学習を取り入れています。

二月十八日には、児童五十八名が各グループに分かれて、テングス木の枝の駆除作業を行い、協力し合いながら、桜の育成活動を行うことができました。



寒い中一生懸命に手入れしました

三月四日には、学習の感想を話し合う「桜フォーラム」を行い、地域の宝を守るため自分たちがボランティアに参加できた喜びや生命の大切さを学ぶことができました。席上、授業の講師をされた夏井行政区本宮本誉区長へ千本桜の歌を発表し、また、六年生が廃品回収の益金で購入した車椅子を、足の不自由な方々にも千本桜の美しさを堪能してもらいたいとの願いを込めて寄付しました。

三月十七日、小野町役場において、平成十六年度第二回小野町都市計画審議会が開催されました。審議会では、最初に榎田会長のおいさつのもと、春山町長から榎田会長に諮問書が提出されました。今回の案件は、田村東部都市計画の変更及び特殊建築物の敷地の位置について（県知事決定）を審議するもので、誘致企業である東レACE株式会社より、近年の循環型社会に対応するため、自社で製造した窯業系サイディングボードを使用する建築現場で発生した残材を工場内へ搬入し、これを原材料として再生利用することにより廃棄物の削減を図ることを目的とし、申請されたもので、当該敷地の位置を都市計画決定する必要があることから審議会を開催したものです。

事務局からは都市計画上の支障の有無などについてそれぞれ説明があり、その結果、自社製品のみを残材を活用した原材料のリサイクルであり、ゴミの減量化につながるのと認識から適切である。」と榎田会長より春山町長へ答申がなされました。今後は、町から県へ進達し、県審議会の答申を受けた後、告示等の都市計画手続きを進めます。



榎田会長から答申を受けました

特殊建築物関係について審議 第二回都市計画審議会開催

続いて、平成十六年度こまちダム建設、右支夏井川河川改修と市街地整備及び小野町公共下水道各事業の進捗状況等につ

いて報告が行われました。「特殊建築物」とは、卸売市場、火葬場又はと畜場、汚物処理場、ゴミ焼却場その他の処理施設をいい、都市計画区域内において、その敷地の位置を決定しなければならないと規定されております。